



環境経営レポート

2022年度

テーマ：目指せ資源を活かしたエコ塗装

作成日：2023年3月31日



ウエスタン塗装株式会社
<http://www.western-coating.co.jp>

1. 目 次

1. 目次	2
2. ご挨拶	2
3. 会社及び事業概要	3
4. 環境経営方針	5
5. エコアクション21推進体制	4
6. 環境マネジメントシステム年間スケジュール	5
7. 環境活動計画	6
8. 環境経営目標とその実績	7
9. 環境活動の取組み実績と評価	8～11
(1) 電力使用量の削減	8
(2) LPG使用量の削減	8
(3) エコドライブによるガソリン使用量の削減	9
(4) 灯油使用量の削減	9
(5) 二酸化炭素排出量の削減	10
(6) 塗料・シンナー使用量の削減とVOC排出量の削減	10
(7) 一般廃棄物削減	11
(8) 総排水量の削減	11
10. 環境教育訓練活動	12
11. 緊急事態対応訓練活動	12
12. 環境委員会	13
13. 経営者による全体の評価と見直し	13
14. 法規制遵守活動と遵守状況	13～14
15. 総括	15

2. ご 挨 拶

ウエスタン塗装株式会社は1970年上州の空っ風と国定忠治で有名な伊勢崎市国定町に根を下ろし、創業以来一貫してOA機器・家電部品・自動車部品等の塗装分野における表面処理のエキスパートとして歩んでまいりました。

近年金属製品塗装に係る技術革新は目覚しく、ますます進展の度合いを増す勢いです。またこの分野での高品質を求めるお客様のニーズも一段と高まってきています。このような情勢の中で、弊社は「すべてのお客様にとって、最も便利な企業になる」を企業理念に掲げ、塗装専門業者としてお客様の多様なニーズに応え、さらに信頼される企業を目指して、たゆまぬ努力と革新活動を続けています。

弊社の企業活動は自然環境に与える影響が大きいため、これを真摯に受けとめながら、地道な環境活動を展開してきました。環境への配慮を企業活動の重要な責務と捉え、地球環境にやさしい企業となるべく環境経営方針を掲げ、社員一丸となり、エコアクション21活動に取り組んでいます。

この「環境経営レポート」は2022年度(2022年2月1日～2023年1月31日まで)の実績をまとめたものです。

ご高覧の上、ご評価賜りますようお願い申し上げます。



2023年3月31日
ウエスタン塗装株式会社
代表取締役社長 西村英朗

3.会社及び事業概要

- ・事業者及び代表者名

ウエスタン塗装株式会社
代表取締役社長 西村英朗

- ・事業内容(認証・登録範囲)

事務機部品、電機部品、産業機器部品、自動車部品など様々な製品の塗装業務及び前処理等の業務
溶剤塗装業務、粉体塗装業務、カチオン電着塗装業務
(全組織、全活動)

- ・所在地

本社工場
〒379-2221 群馬県伊勢崎市国定町1丁目48番地1
北関東自動車道太田薮塚ICより約3km、5分

- ・環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	代表取締役社長	西村英朗
環境管理責任者	代表取締役社長	西村英朗
担 当	EA21推進事務局	栗子 丈志
連絡先	TEL	0270-62-6121
	FAX	0270-62-6682
	E-mail	western@sunfield.ne.jp

- ・事業規模(2023年1月31日現在)

資本金	1000万円
売上高	8億円
従業員数	30名
工場延べ床面積	2593㎡

4.環境経営方針

基本理念

ウエスタン塗装の企業理念である「お客様にとって最も便利な企業になる」「下請けに徹する」を基盤とし、環境保全活動を通じ、お客様や地域社会の信頼にこたえられる、真に信頼された、選ばれた企業を目指します。

基本方針

環境保全活動を推進するにあたり、以下に活動項目を掲げ取組みます。

- 1 私たちは、金属材料を素材とした、自動車、OA機器、家電部品等の表面処理・塗装を専業とする工場として、全員参加の活動で、環境保全活動に努めます。
- 2 省エネ、省資源及びCO2(二酸化炭素排出量)削減に努めます。
- 3 本業における3R活動で以下の具体的活動を推進します。
 - 1 塗装品質の向上及び作業の効率化で、廃塗料、廃溶剤、廃薬液、廃スラッジ、廃梱包資材等の廃棄物を減らします。(リデュース)
 - 2 塗装品質の向上で、顧客満足度の高いリユースな塗装品質を提供します。(リユース)
 - ・ 塗装作業で使用する有機溶剤は再利用により繰り返し使用します。
 - ・ 電着塗装で使用する電着液ろ過膜を有効活用し効率の良い再生利用で繰り返し使用します。
 - ・ 工夫した作業で治具や副資材を大切に繰り返し使用するリユース作業を更に推進します。
 - 3 塗装工場で発生する廃溶剤や廃梱包資材、廃プラ、廃ビニール、廃金属等分別を徹底し、再資源化に努めます。(リサイクル)
- 4 私たちは、地域社会及び社員が安心してできる作業環境を作り、日頃から環境影響負荷の低減を目指します。リスク管理で、環境関連法規の遵守を徹底します。
- 5 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上と充実した環境活動の展開を図ります。
- 6 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。これらの環境活動を環境管理システムの実行により、全員一丸となって取組みます。
～ この環境経営方針は、社内外に公表します ～

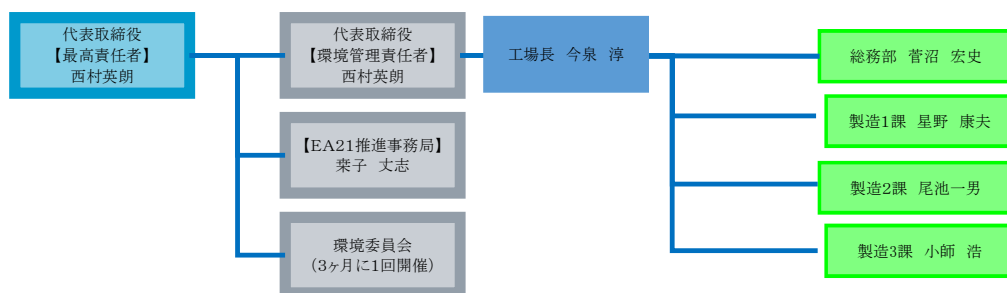


ウエスタン塗装株式会社
代表取締役社長 西村英朗

改訂：2019年3月22日

5.エコアクション21推進体制

・環境組織と役割について以下のように取り決めました。



役割と責任

職 名	役 割
最高責任者	【代表取締役社長 西村英朗】 ① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には現在の職務に係りなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 ③ 環境経営方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行ない、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤ 経営における課題とチャンスの明確化を行う。
環境管理責任者	【代表取締役社長 西村英朗】 ① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築・運用を円滑に行ない、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
工場長	【工場長 今泉 淳】 ① 製造部門に対しエコアクション21の構築・運用・維持に必要な情報等を伝達・指示し、円滑な運営をサポートする。
総務部	【総務部 菅沼 宏史】 ① 事務部門に対しエコアクション21の構築・運用・維持に必要な情報等を伝達・指示し、円滑な運営をサポートする。 ② 会社全体の環境情報を全部門に報告する。
事務局	【事務局 栗子 丈志】 ① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21活動全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・工場長・総務部長・部門長で構成する。3ヶ月に1回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することが出来る。

6. 環境マネジメント年間スケジュール(2022年度)

2022年度環境マネジメントシステム(EMS)年間スケジュールを作成し、実行事項をPDCAの順に回すようにしました。計画表には実施事項、実施日、実施者、関連文書を記載し、年間スケジュールの進捗管理を行うように計画しました。

EMS年間計画スケジュールの記載内容一覧

	実 施 事 項	実施日	実施者	関連文書
P(計画)	1 環境経営方針の見直し	継続	社長	方針揭示物
	2 環境負荷と環境への取組み状況の把握と評価	2月	総務	環境負荷・取組の自己チェック
	3 該当法規制の見直し	3月	総務・事務局	法規制一覧表
	4 目的・目標及び環境活動計画策定	3月	総務・事務局	環境活動計画書
	5 環境組織図の見直し	3月	総務・事務局	EA21推進組織図
	6 教育訓練計画の見直し	3月	総務・事務局	環境教育訓練、資格者リスト
	7 緊急事態の想定・準備	4月	総務・事務局	緊急事態想定対応訓練
D(実行)	8 納入業者や取引業者への協力伝達	4月	購買担当者	取引業者伝達用紙
	9 環境委員会の開催	3ヶ月	環責	環境委員会議事録
	10 電力・LPG・GS・水使用量のデータ取りと集計	毎月	総務・製造	実績データ表
	11 廃棄物発生データ取りと集計	毎月	総務・製造	実績データ表
	12 化学薬品使用量のデータ	毎月	製造	実績データ表
	13 PRTR届出	5月	事務局	PRTR届出(電子申請)
	14 グリーン購入量データ取り集計	毎月	総務	実績購入データ
	15 排水の水質検査実施	毎月	事務局	計量証明書
	16 騒音・振動測定の実施	適宜	事務局	自主管理
	17 作業環境測定実施	6月・12月	事務局	証明書
	18 緊急事態訓練実施	毎月	環責	緊急事態訓練記録
C(チェック)	19 法規規制値遵守確認	2回/年	環責	法規制一覧表
	20 教育訓練進捗確認	1回/3ヶ月	環責	環境教育訓練計画
	21 環境経営目標達成及び環境活動計画実施状況確認	1回/3ヶ月	環境委員会	取組み状況確認シート
	22 環境文書・記録整理	5月	環責	EMSファイル文書記録一覧表
A(アクション)	23 代表者による全体見直しと評価	2回/年	環責	環境経営レポート
	24 環境経営レポート作成	3月	環責	環境経営レポート

7.環境活動計画

2022年度の環境レビューを行い、環境目的・目標を項目別に掲げた環境活動計画を作成、管理項目と実行事項のスケジュールについて予定○、実施●にて進捗管理を行なうよう計画しました。

・弊社の取組む環境活動は大きく分けて環境活動、削減取組み活動、教育訓練活動、遵法管理活動、の4項目に付いて以下のような活動を行なっています。

- ①環境活動とは環境活動を円滑に推進していくための職場5Sを基本とした活動
- ②削減取組活動とは電力、LPG、CO₂、水、廃棄物などを積極的に削減する活動
- ③教育活動とは環境教育訓練、緊急事態対応訓練など一般知識や専門知識を習得するための活動
- ④遵法管理活動とは水質、大気、騒音、振動、廃棄物等の関係法令をチェックし管理する活動

2022年度環境活動計画内容一覧

No.	環境目的	管理項目と実行事項	スケジュール (2月～1月)
1	CO2排出量削減	①電力使用量、LPG使用集計推進	○予定・●実施
		②多消費設備の運転監視強化	○予定・●実施
		③省エネ対策の推進と実施	○予定・●実施
		④省エネ診断申し込みと活動実施	○予定・●実施
		⑤社用車がソリン集計	○予定・●実施
		⑥点検・整備の充実とエコドライブ推進	○予定・●実施
		⑦CO2換算による排出量の集計管理の充実	○予定・●実施
		⑧原因分析と削減方法の検討	○予定・●実施
2	廃棄物の削減	①廃棄物排出量集計とマニフェスト管理の推進と監視	○予定・●実施
		②焼却ゴミ、リサイクルゴミの分別精度向上推進と監視	○予定・●実施
		③焼却ゴミ、リサイクルゴミ、産廃物の排出量削減の推進	○予定・●実施
		④原因分析と削減方法の検討	○予定・●実施
3	水資源削減	①水使用量集計(井水・市水)推進と監視	○予定・●実施
		②流量メータ取付けによる井水計量精度向上	○予定・●実施
		③節水活動の推進と監視	○予定・●実施
		④原因分析と削減方法の検討	○予定・●実施
4	化学物質使用量 (塗料・シンナ)の削減	①塗料・シンナー使用量の集計管理の充実	○予定・●実施
		②塗装条件の標準化による塗料・シンナー使用量の削減	○予定・●実施
		③塗装品質の向上による塗料・シンナー使用量の削減	○予定・●実施
		④原因分析と削減方法の検討	○予定・●実施
5	VOC排出量の削減	①シンナー回収量の集計管理で更なる削減	○予定・●実施
		②廃シンナー・廃塗料のシンナー回収徹底・習慣化	○予定・●実施
		③シンナー回収装置の保守点検充実で運転稼働率向上	○予定・●実施
		④原因分析と削減方法の検討	○予定・●実施

※月別実行計画の進捗管理記号は○＝計画 ×＝進展無し ▲＝実施中 ●＝実施済 とし毎月進捗管理状況を記入する。

8. 環境経営目標

当社に於ける2016年度から2018年度実績平均を環境目的として2022年度(22年2月1日～23年1月31日)の目標・実績を下記に示します。

主な環境経営目標と環境負荷・実績

環境目的項目 管理実施項目	単位	16～18年度 実績平均	2021年度	2022年度		目標 達成	2023年度	2024年
		実績	目標	目標	実績		目標	目標
					(22年2月 ～23年1月)			
①二酸化炭素排出量の削減								
電力使用量の削減	KWh/百万円	1,381	1,360	1,360	1,119	○	1,360	1,340
LPG使用量の削減	Nm3/百万円	200	197	197	153	○	197	194
輸送燃料使用量の削減	ℓ/百万円	27	27	27	1	○	27	26
灯油使用量の削減	ℓ/百万円	4	4	4	2	○	4	4
CO2排出量の削減	kg-CO2/百万円	1,828	1,801	1,801	1,391	○	1,801	1,774
②塗料・シンナー使用量の削減								
塗料使用量の削減	kg/百万円	104	102	102	84	○	102	101
シンナー使用量の削減	kg/百万円	53	52	52	40	○	52	51
③VOCの削減								
キシレン	kg	6,109	6,017	6,017	2,787	○	6,017	5,927
トルエン	kg	2,835	2,792	2,792	2,575	○	2,792	2,751
エチルベンゼン	kg	2,892	2,849	2,849	1,555	○	2,849	2,806
VOC合計排出量	kg	11,815	11,638	11,638	6,917	○	11,638	11,463
④廃棄物の削減								
焼却ゴミの削減	kg/年	－	56,525	56,525	76,300	－	56,525	56,005
⑤総排水量の削減								
給水量の削減	m3/百万円	24	24	24	16	○	24	24

* 電力のCO₂排出量については、ミツウロコグリーンエネルギー株式会社の実排出係数 0.344(Kg-CO₂/kwh)(令和2年度)を使用。

* 2022年目標は2016年～2018年の平均より現状維持した目標としております。

* 社内生産額 605百万円 を原単位の分母として使用している。

* 燃えるごみは廃棄物の廃棄方法が変わったため、数量を調整しています。

		2022年度 総量
電力使用量	KWh	678,002
LPG使用量	Nm3	92,624
CO2排出量	kg-CO2	843,076
給水量	m3	9,560
廃棄物	kg	76,300

9.環境活動の取組実績と評価

2022年度の環境活動取組み実績について以下に報告します。

(1) 電力使用量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

電力削減活動内容

活動内容	担当者
1. コンプレッサーの交互運転開始	今泉 星野
2. 空温式ペーパーライザー (LPG気化装置) の設置	
3. 週末のエアリー漏れ確認実施	
4. デマンド装置を事務所内で監視しピーク時に全工場にアナウンス 生産に影響のない設備を一時停止した。	

評価結果

・電力原単位 (Kth/百万円)	22年目標	1,360	kth/百万円	
	22年結果	1,119	kth/百万円	▲ 17.7

取組み結果の評価

環境管理責任者の講評

売上げからみた原単位は ▲ 17.7 % 削減することができました。
今後も継続、改善を行い削減活動を行ってもらいたいと考えます。

次年度の取組は従来の活動の継続いたします。

(2) LPG使用量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

LPG使用量の削減活動内容

活動内容	担当者
1. 日常点検の実施や生産効率の向上による省エネを実施した。	今泉 星野
2. 設定温度の適正化、評価を実施	
3. 対象部に測定メーターを取付け個別に使用量を監視	
4. 焼付乾燥炉の温度上昇に合わせて低温から高温への生産計画の徹底	

評価結果

・LPG原単位 (Nm ³ /百万円)	22年目標	197	Nm ³ /百万円	
	22年結果	153	Nm ³ /百万円	▲ 22.3

取組み結果の評価

環境管理責任者の講評

売上げからみた原単位は ▲ 22.3 % 削減することができました。
今後も生産計画及び適正温度評価を継続し改善点があればすぐに取り組み削減活動を行ってもらいたいと考えます。
次年度の取組は従来の活動の継続いたします。

(3) エコドライブによる輸送燃料使用量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

輸送燃料使用量の削減活動内容

活動内容	担当者
1. 社用車の担当決めや輸送燃料使用量・走行距離を毎月見える化し運転者の意識改革を継続的に実施し配送ルート及び物流に合わせた車種の選択、車両監視システムの導入も図り削減活動を実施した。	会長、社長、金子

評価結果

・ガソリン原単位(ℓ/百万円)	22年目標	27	ℓ/百万円	
	22年結果	1	ℓ/百万円	▲ 96.5

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

売上げからみた原単位は ▲ 96.5 % 削減することができました。
運送を外注に委託したことによって、大幅な減少に至ったと考えられます。
次年度の取組は従来の活動の継続いたします。

(4) 灯油使用量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

灯油使用量の削減活動内容

活動内容	担当者
1. 冬場の暖房の有効使用を徹底する	菅沼、今泉

評価結果

・灯油原単位(ℓ/百万円)	22年目標	4	ℓ/百万円	
	22年結果	2	ℓ/百万円	▲ 42.5

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

売上げからみた原単位は ▲ 43 % 削減することができました。
今後もさらなる改善活動を期待します。
次年度の取組は従来の活動の継続いたします。

(5)二酸化炭素排出量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

二酸化炭素排出量の削減活動内容

活動内容	担当者
1. 電力・LPG・輸送燃料・灯油等の削減活動による相乗効果としてとられました。	全従業員

評価結果

・二酸化炭素排出原単位 (kg/百万円)	22年目標	1,801	kg/百万円	
	22年結果	1,391	kg/百万円	▲ 22.8

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

売上げからみた原単位は ▲ 22.8 % 減少しました。

全体の削減における結果が良かったと考えられます。

次年度の取組は従来の活動の継続いたします。

(6)塗料・シンナー使用量の削減とVOC排出量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

塗料・シンナー使用量の削減及びVOC排出量の削減活動内容

活動内容	担当者
塗料・シンナーの削減 1.日々使用量集計の細分化データ収集。 2.塗装不良率の低減対策、改善活動継続中。(歩留向上) 3.日々の塗料、シンナー在庫確認(不良在庫の削減) 4.品質要求に対しての適正膜厚管理の徹底	今泉・ 星野・小師
VOCの削減 5.回収シンナーの有効活用。(再生量のデータ収集徹底) 6.希釈シンナー適正使用。(使用シンナー細分化データ収集徹底) 7.適正塗料粘度による不良率低減。(粘度管理表にて徹底管理) 8.開封缶シンナー及び塗料の蓋閉め徹底活動の継続。 9.生産計画での同塗料での生産強化実施	

評価結果

・溶剤塗料原単位(Kg/百万円)	22年目標	102	kg/百万円	
	22年結果	84	kg/百万円	▲ 17.6
・シンナー原単位(Kg/百万円)	22年目標	52	kg/百万円	
	22年結果	40	kg/百万円	▲ 23.1

VOC発生量(kg/年)	22年目標	22年結果	備考
キシレン	6,017	2,787	
トルエン	2,792	2,575	
エチルベンゼン	2,849	1,555	
合 計	11,638	6,917	

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

塗料の原単位は ▲ 18 % 減少しました。

シンナーの原単位は ▲ 23 % 減少しました。

シンナー使用量については受注量増が一番の要因と判断しますが塗装技術による使用量削減活動も積極的に行ってもらいたいと考えます。

次年度の取組は従来の活動の継続いたします。

(7)一般廃棄物の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

一般廃棄物排出量の削減活動内容

活動内容	担当者
【資源ゴミ・焼却ゴミの分別関係】 1.毎朝の分別活動実施 2. 毎朝の全体清掃の実施 3. 生産を行わず月1回の全社員清掃実施	一場・栗子

評価結果

・焼却ゴミの削減(kg/年)	22年目標	56,525	kg/年	
	22年結果	76,300	kg/年	△ 35.0

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

一般廃棄物の排出量は、△ 35.0 % 増加しました。
廃棄物の処理方法の変化によって、目標値を変更したためと思われます。今後も削減を行ってもらいたいと考えます。
次年度の取組は従来 of 活動の継続いたします。

(8)総排水量の削減

目標:2016～2018年度の平均実績に対して2022年度までに現状維持する。

総排水量の削減

活動内容	担当者
1. 外部機関による水漏れ配管チェック実施	横山勝・栗子
2. 週末稼働終了後の水漏れ及び閉め忘れパトロール継続	
3. 水使用設備の各細分化使用量把握の実施	

評価結果

・水原単位(m ³ /百万円)	22年目標	24	m ³ /百万円	
	22年結果	16	m ³ /百万円	▲ 33.3

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

売上げからみた原単位は ▲ 33.3 % 削減することができました。
外部機関による水漏れチェック実施、週末の水漏れ確認パトロール及び各水使用設備の細分化使用データの収集等活発な活動が行えたと判断します。今後も活動を継続し提案、改善を積極的に行ってもらいたいと考えます。
次年度の取組は従来 of 活動の継続いたします。

11. 緊急事態対応訓練活動

目標:環境上の緊急事態を想定した、緊急事態対応訓練計画書を作成し、環境汚染等を最小限に食い止める訓練を定期的に行なう。

緊急事態対応訓練活動の推進

活動内容	担当者
1.緊急事態対応訓練は環境管理手順書に掲げた環境設備設備について実施。	今泉・尾池
2.緊急事態対応訓練計画表を作成し計画通り実施できた。	
3.緊急事態の訓練結果を報告書にまとめ部門長及び環境管理責任者に提出。	全体
4.消火訓練の実施。	

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

緊急事態対応訓練を予定通り実施することができました。
今後も社員全員で意見を出し合いより実効性の高い教育訓練の実施を行ってもらえればと思います。

12.環境委員会

目標:3ヶ月に1回環境責任者の指示で環境委員会を開催し、環境活動計画の進捗状況や環境改善活動、外部情報などについて議論を行い、その後の改善活動につなげる。

環境委員会の開催と推進

活動内容	担当者
1.環境委員会の開催 年4回(1回/3ヶ月)の環境委員会を実施できた。 環境保全活動における情報の共有化が図れた。	委員会メンバー

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

計画通り環境委員会を実施できた。来期も引き続き環境活動を通じて情報の共有化を図り一層の環境保全活動に結び付けてほしい。

13.経営者による全体の評価と見直し

目標:経営者は、エコアクション21全体の取組み状況进行评估し、全体的な見直しを実施し、必要な指示を6ヶ月に1回行うようにし、その後の改善活動につなげる。

経営者による全体の評価と見直し

活動内容	担当者
1.経営者による全体見直し会議の開催 年2回の経営者の全体見直しを実施できた。 2.環境教育訓練結果を報告書にまとめ部門長及び環境管理責任者に提出できた。 取り組み状況シートを作成し、会議にて了解を得た。	代表者・事務局

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

年2回の全体見直しと会議を開催し、経営者の取り組みに向けた考え方を伝えることが出来た。

14.法規制遵守活動と遵守状況

目標:事業活動に当たって遵守しなければならない環境関連法規、条例及びその他の規制を日頃からチェックするとともに、該当又は不足しているものについては迅速な対応を図る。

法規制遵守活動

活動内容	担当者
1.環境法遵守チェック一覧表のチェックと管理 2.官庁届出書類一覧の表見直し管理 3.法定資格者一覧表の見直し管理 4.環境設備の操作手順書の改定見直し管理 5.工場内特定施設の設置場所図の見直し管理	菅沼・今泉

取組み結果の評価(環境管理責任者の講評)

EMS年間計画スケジュールに記載した、遵法チェック等確実に実施できた。今後も法規制遵守活動はしっかり行うこと。

当社に適用される主な環境関連法規と遵守状況は以下の通りです。

関連法規の名称	規制事項	遵守状況
水質汚濁防止法	排水基準	違令
大気汚染防止法	VOC規制	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物	遵守
毒物及び劇物取締法	毒物劇物危険防止規定 (貯蔵・運搬・取扱)	遵守
特定化学物質の環境への排出量の把握 等及び管理の改善の促進に関する法律	PRTR対象物質	遵守
消防法	危険物一般取扱所	遵守
労働安全衛生法	作業環境	遵守
フロン排出抑制法	フロン使用適正化	遵守

環境関連法規の遵守状況

水質汚濁についてBOD超過の違令が発生した。

工場設備の改築による、廃液の排水経路が変わったことによる、影響だと考えられ対策を講じて遵守出来るようにいたしました。

16.総括

環境管理責任者の総括

代表取締役社長：西村英朗

2022年度も業績が順調に推移した1年でした。

環境活動実績では、電気、ガス、ガソリンは原単位目標を達成することができました。

作業環境改善から作業の負荷が減り、品質の向上を図れると考えております。

今年度は、行政からの排出水の改善の指導があった点が、残念におもいます。今後は、起きないように社員教育、設備改修に努めていきたいと考えております。

来期も、本事業の環境組織が中心となって、各役割を果たすのはもちろんのこと、従業員一人一人が活動意識を更に高め、目標達成に向けた取り組みを行います。継続的に環境活動の手を緩めることなく、各自が工夫を凝らした前向きな活動展開し“安心、安全、安定”の3Aを目指していきます。

環境経営レポートのご意見、ご感想、お気づきの点等がございましたら、お気軽に弊社ホームページからお問い合わせください。

URL:<http://www.western-coating.co.jp>

ご高覧いただきありがとうございました。